

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 26 年 2 月 6 日 (2014.2.6)

【公開番号】特開 2012-181684 (P2012-181684A)
 【公開日】平成 24 年 9 月 20 日 (2012.9.20)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-038
 【出願番号】特願 2011-44252 (P2011-44252)
 【国際特許分類】

G 0 6 K 19/077 (2006.01)

G 0 6 K 19/07 (2006.01)

【F I】

G 0 6 K 19/00 K

G 0 6 K 19/00 H

【手続補正書】
 【提出日】平成 25 年 12 月 13 日 (2013.12.13)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

有線通信及び無線通信に共用の R F I D タグであって、
 無線通信用アンテナの配線を有線通信用の配線に共用し、且つ、有線通信時に前記無線通信用アンテナの配線が高周波整合部品により分離されることを特徴とする R F I D タグ。

【請求項 2】

有線用通信端子が前記無線通信用アンテナ上の少なくとも一部として設けられていることを特徴とする請求項 1 に記載の R F I D タグ。

【請求項 3】

前記無線通信用アンテナは電源用アンテナと通信用アンテナからなり、前記電源用アンテナの配線を有線電源用配線に共用し、前記通信用アンテナの配線を有線通信用配線に共用することを特徴とする請求項 1 もしくは 2 に記載の R F I D タグ。

【請求項 4】

前記無線通信用アンテナは電源・通信兼用アンテナからなり、前記電源・通信兼用アンテナの配線を有線電源用配線又は有線通信用配線に共用することを特徴とする請求項 1 もしくは 2 に記載の R F I D タグ。

【請求項 5】

前記無線通信用アンテナはループアンテナからなることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の R F I D タグ。

【請求項 6】

前記高周波整合部品は、前記ループアンテナ上に設けられていることを特徴とする請求項 5 に記載の R F I D タグ。

【請求項 7】

前記高周波整合部品は、高周波数ではリアクタンスが略ゼロを示し、低周波数ではリアクタンスが大きくなることを特徴とする請求項 6 に記載の R F I D タグ。

【請求項 8】

前記無線通信用アンテナはダイポールアンテナからなることを特徴とする請求項 1 乃至

4 のいずれか 1 項に記載の R F I D タグ。

【請求項 9】

前記無線通信アンテナは平面パッチアンテナからなることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の R F I D タグ。

【請求項 10】

前記平面パッチアンテナのパッチ部を有線用端子に共用することを特徴とする請求項 9 に記載の R F I D タグ。

【請求項 11】

請求項 1 乃至 10 のいずれか 1 項に記載の R F I D タグが搭載されていることを特徴とする電子機器。